

バイリンガル教育・ICT教育の必要性

「命が何よりも尊いことを絵本の感動を通して伝えたい」と14年前、自作童話の読み聞かせを始められた直木賞作家の志茂田景樹氏。現代の教育を問う著作も多い志茂田氏に、いま求められる教育のあり方について聞いた。(聞き手＝広報副委員長・牧山ひろえ参院議員)



牧山 ニューヨークの空港でサインを頂いてから18年経ちましたね。

志茂田 そうですね。あの時に初めてお会いしましたね。
志茂田 感性に響く言葉は、ずっと「言葉(ことば)」としてその人の心に残ると思

志茂田 読み聞かせの会を長年にわたり全国展開されていると伺いました。

志茂田 はい。子どもは4歳ぐらいから自分の判断で行動出来るようになります。そのため、親はそれまでに十分に子どもとの接触を持ち、特に読み聞かせなどに力を入れておくと、その後の成長に大きな違いが出てきます。人間は悲しみや喜びを心から表現することも大切であり、そうした感情も読み聞かせによって育まれると思います。

志茂田 これからも絵本・児童書の作家として、また絵描きとしても、読み聞かせの良さを伝えていきたいと思

志茂田 これまで英語を全く話さずとも成り立っていた職場でも、今後は海外からの電話やファックス、メールなどがくることは当たり前な時代はもう間近に来ています。

志茂田 そうですね。英語が苦手なためにビジネスチャンスを失うことがあってはならないですよ。

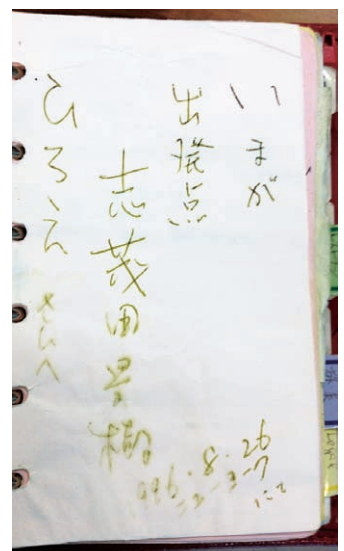
志茂田 そうなんです。私は、童話・絵本の読み聞かせの必要性を痛感して「よい子に読み聞かせ隊」を結成し、これまで全国で1500回以上開催してきました。物語のサウンドを上映し、フルート、ピアノ、ヴァイオリンなど音楽隊の伴奏とともに臨場感を高めながら、自作童話・絵本を朗読をする。物語の世界へと自然に入り込んでいけるような読み聞かせのイベントとなっています。

志茂田 これからも絵本・児童書の作家として、また絵描きとしても、読み聞かせの良さを伝えていきたいと思

志茂田 そうなんです。私は、童話・絵本の読み聞かせの必要性を痛感して「よい子に読み聞かせ隊」を結成し、これまで全国で1500回以上開催してきました。物語のサウンドを上映し、フルート、ピアノ、ヴァイオリンなど音楽隊の伴奏とともに臨場感を高めながら、自作童話・絵本を朗読をする。物語の世界へと自然に入り込んでいけるような読み聞かせのイベントとなっています。

志茂田 そうですね。英語が苦手なためにビジネスチャンスを失うことがあってはならないですよ。

志茂田 そうなんです。私は、童話・絵本の読み聞かせの必要性を痛感して「よい子に読み聞かせ隊」を結成し、これまで全国で1500回以上開催してきました。物語のサウンドを上映し、フルート、ピアノ、ヴァイオリンなど音楽隊の伴奏とともに臨場感を高めながら、自作童話・絵本を朗読をする。物語の世界へと自然に入り込んでいけるような読み聞かせのイベントとなっています。



志茂田氏との交流の出発点となった手帳のサイン。飛行機を待つニューヨークの出発ロビーで書いてもらったもの。

でしょうか。

志茂田 英語教育に力を入れると、その分他の教科に充てられる時間は当然少なくなりませんが、英語教育はそれだけの価値があるものでしょう。もちろん、英語教育だけでなく国語をしっかり勉強しなければ表現力が乏しくなりますからね。国語と英語を並行して勉強することが大事です。

牧山 全く同感です。日本人としてのアイデンティティー、つまり国語や文化を大事にする、身につけることはもちろん大前提だと思います。とはいえ、英語は早いうちに学んだ方が負担が少ないと思いますから、やはり並行して勉強することが望ましいと思います。

志茂田 読み書きの能力が衰えてきていると指摘され、グローバル化も進行しているなか、ぜひバイリンガル教育を進めてもらいたいです。

牧山 そうですね。私も国会で引き続き積極的に発言していきたいと思います。

英語教育も大事ですが、ICT（情報通信技術）教育を早急に推進することも、とても大切だと思っています。



志茂田 景樹（しもだ・かげき）

1940年静岡県生まれ。作家。中央大学文学部卒業。76年「やっそこ探偵」でデビュー。80年「黄色い牙」で第83回直木賞受賞。児童書や絵本の原作なども手がける。

ICT教育の推進が異文化交流につながる

志茂田 ICT教育を重視するのはどんな理由ででしょうか。

牧山 情報化社会におけるICT教育の必要性が広く認識されつつありますが、教育における利活用は、子どもたちの「考える力」や「コミュニケーション力」を養い、視野を広げ、語学教育や異文化教育の強化にも貢献すると思います。例えば、スカイプなどを使い、日本の教室内で外国の子どもたちと英語が練習できるというのは、大変素晴らしいと思います。

志茂田 異文化を学ぶ機会にもなりますね。

牧山 はい。韓国では今年から全小中学生にタブレットPCが支給され、教育に活用さ

れるようになりました。

私は参院災害特別委員会の理事として全国各地の被災地を視察していますが、例えば被災地で、学校に行くことが困難になった場合でも、1人1台のタブレットPCがあれば、それを使用しての授業が可能になります。授業だけでなく、最新の災害の情報や避難所に関する情報などがリアルタイムで届き、それらを共有することができれば、災

用によって授業の改善や遠隔共同学習など学びの幅を広げ、将来への可能性を広げることが出来ます。

志茂田 ICTを活用した教育で言えば、私はインターネット回線で全国の子どもたちに絵本の読み聞かせをする「ウェブ絵本読み聞かせ劇場」にも取り組んでいます。私自身の声で朗読し、ボランティアの演奏する音楽とあわせて、子どもたちが絵本

書時の混乱を緩和することもできると思います。

病気やけがでベッドから出られない子どもたち、障害を持つ子どもたちにとっても、学習を助けるための有効なツールになると思います。離島や過疎地の学校でもICTの活用

用によって授業の改善や遠隔共同学習など学びの幅を広げ、将来への可能性を広げることが出来ます。

志茂田 ICTを活用した教育で言えば、私はインターネット回線で全国の子どもたちに絵本の読み聞かせをする「ウェブ絵本読み聞かせ劇場」にも取り組んでいます。私自身の声で朗読し、ボランティアの演奏する音楽とあわせて、子どもたちが絵本



牧山 ひろえ（まきやま・ひろえ）

参院議員神奈川県1期

志茂田景樹さんの今後の絵本・読み聞かせ講演会スケジュール

広島県 呉市民会館

8月29日(水) 18:30~ テーマ: 読み聞かせ&コンサート
ありがとう呉市民会館特別講演『たいせつなもの』

第1部 志茂田景樹氏による絵本の読み聞かせとお話

第2部 呉出身ピアニスト Tonica の演奏と語り、Mina の歌

岩手県宮古市 グリーンピア田老

9月5日(水) 15:00~16:00 テーマ: 読み聞かせ
「よいこに読み聞かせ隊による読み聞かせ」

岩手県 宮古市立田老第一小学校

9月6日(木) 15:00~16:00 テーマ: 読み聞かせ
「読み聞かせの世界に浸ろう」親子で一緒に読み聞かせ会

東京都新宿区 ポプラ社1Fホール

9月19日(水) 14:00~16:00 テーマ: 読み聞かせ
「よいこに読み聞かせ隊ポプラワールド」

絵本・読み聞かせ 講演会 スケジュール詳細は、こちらのウェブページでご確認ください。
http://www.kageki.jp/event_schedule.html

重要なのは子どもたちの成長にあった学びの場

志茂田 子どもたちが成長に

の世界に引き込まれるような工夫をしています。

牧山 なんて素敵なアイディアでしょう！ やはり、インターネットを利用する人が増えた今の時代に、利用方法次第では本当にこれまででは得られないことを学び、経験することができると思います。

あった学びを得るための環境づくりは重要であると思います。

牧山 PCや電子黒板の配布・利用だけでなく、同時にデジタル教科書の開発や普及促進、教員の方々にもご協力いただいて総合的に環境整備が実現できるような施策を考えていきたいと思っています。本日はお忙しいなか、ありがとうございました。大変勉強になりました。